

教育講演会

演題「これからの社会科教育の動向」

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 小倉勝登 氏

- 「学習指導要領」をよく読むこと
- 「主権者として求められている力」を育成すること

1 「学習指導要領」をよく読むこと

北海道大会、熊本大会で共通していること

① 教材の重要性

- ・ 同じ魚売り場でも時間によって並んでいる魚が違うのはなぜかを考えさせる。
- ・ 3年生の学習でも税の内容を扱う。 など

学習指導要領を徹底的に分析する。ポイントは「社会的事象の見方・考え方」

★ 教材開発で注意しなければならないこと

拡大解釈・独自の解釈  社会科の学習

※ プラス α と α は別物である。あくまでもプラス α に。

② 単元構成・学習過程の重要性

- ・ 教師の単元デザインが重要
- ・ 問題解決的な学習の充実がポイント

★ 話合いは問題解決のために行うこと → 初等教育資料8月号で紹介予定

社会的な見方・考え方を繰り返し働かせること

※ 警察と消防、県内の特色ある地域などの単元で実施可能

2 「主権者として求められている力」を育成すること

社会科で担っている部分はどこかを考える。

- ・ 政治の働きへの関心を高める内容の改善・充実が図られる単元（3・4・6年）

※ 小・中学校向け主権者教育指導資料「主権者として求められる力」を子供たちに育むために」を参考にするとよい。

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00085.html